事業所防災リーダー通信2024 Vol.8

作成：東京都総務局総合防災部
2024年7月16日

事業所防災リーダーに向けて、防災知識や防災に関するお知らせ等を定期的に発信します。

問題 熱中症特別警戒アラートが出た際はどう対応しますか？

①テレワークを推奨する　②屋外イベントを見直す
③屋外作業を見直す

正解：すべて

今年は、過去に例のない暑さが予想されています。熱中症特別警戒アラートは、今まで普段心掛けていただいている熱中症予防行動と同様の対応では不十分な可能性があります。アラートは、前日の午後2時頃には発表されるので、事業所として翌日の行動をすみやかに判断しましょう。

防 熱中症特別警戒アラート

参考：環境省『熱中症予防情報サイト』

熱中症警戒アラートに加え、2024年4月から熱中症特別警戒アラートの運用が始まりました。

熱中症警戒アラート		熱中症特別警戒アラート
前日午後5時頃または当日午前5時頃	発表時間	前日午後2時頃 （前日午前10時頃の予測値で判断）
全国を58に分けた府県予報区等内のいずれかの暑さ指数情報提供地点	計測地点	都道府県内における、全ての暑さ指数情報提供地点
33 に達すると予測される場合	暑さ指数（WBGT）※	35 に達すると予測される場合
熱中症搬送者の大量発生が予想される	発生すること	過去に例のない危険な暑さ 熱中症救急搬送者数の大量発生を招き、医療の提供に支障が生じる可能性がある

※暑さ指数（WBGT）：気温だけでなく、湿度、風速、輻射（放射）熱を用いて計算される、人が体感的に感じる熱の強さを数値化したもの。28以上は厳重警戒となり、熱中症の発生率が高まる。

環境省の熱中症予防情報サイトでは、熱中症警戒アラートや暑さ指数の情報をメールやLINEで配信しています。また、事業所向けには、「暑さ指数（WBGT）予測値等電子情報」をCSV形式で提供されており、事業所の独自システム等で利用しやすくなっています。情報収集手段のひとつとして、有効に活用しましょう。

防 熱中症の応急手当

従業員の様子がおかしいと思ったら、下記の対応を行いましょう。
※熱中症と疑われる場合：呼びかけに反応しない、顔面蒼白、汗のかき方がおかしい、など

①すぐに119番

②救急車が到着するまで応急手当

※下記は、応急手当の一例です。

作業着を脱がせて水をかけ、全身を急速冷却しましょう

（参考：【スポーツ活動中の熱中症予防】ch.5 身体冷却法 -応急処置編-「水道水散布法」）

③救急搬送

事業所の
熱中症予防
に取り組みましょう

参考：厚生労働省『働く人の今すぐ使える熱中症ガイド』➡